

“めざそう笑顔のまちづくり”

# とんぼんまわると

7月号

平成28年7月1日

発行 NO.116

三本木まちづくり協議会

発行責任者 会長 森 毅

「地域のことを 地域みんなで考え 地域みんなで解決していくために」



## 三本木のまわりっ子クラブ 春の遠足

5月23日(月)、「仙台うみの杜水族館」に行って来ました。1年から6年までの児童57名が参加し、13名のスタッフが同行しました。当日は晴天に恵まれ、前日夕の運動会の疲れも見せず、バスの移動中から大はしゃぎしていました。到着後はグループに分かれて見学、うみの杜スタジアムでの、イルカ・アシカショーにみんな大歓声をあげていました。お弁当を食べた後は、お土産を選んだり、うみの杜ビーチで生きものと触れ合ったり、思い思いの場所で楽しい一日を過ごしました。



言ってみよう 相手の目を見て ありがとう

青少年のための大崎市民三本木会議





## がんばります!!

### ● 三本木小学校運動会 ●



5月21日(土)、三本木小学校大運動会が開催されました。校庭は、子供たちと応援に駆け付けた父兄たちの声援であふれていました。



## 親子チアダンス ● 子育て支援センター ●



5月19日(木)子育て支援センターでは、仙台のバトンの先生を講師に『親子チアダンス』が開かれました。11組の親子が参加し、アンパンマンの曲に合わせてポンポンを振って楽しく踊りました。将来のチアリーダーが誕生するかもしれませんね!

## 子どもたちの心をわしづかみ☆彡 ● 児童交流センター ●



5月23日(月)に開かれた児童交流センターの第1回目の映画会は、劇場版アニメ「忍たま乱太郎」を鑑賞しました。前座で“映画どろぼう”で登場した館長先生による手品で盛り上がり、映画館さながら暗室と音響で子どもたちの心をつかみました。また夕方の時間帯には3・4年生による“紙芝居タイム”が恒例となり、心を落ち着けるひとときとなっています。



広報さんぼんぎねっとホームページ:スマホ・パソコンから【さんぼんぎねっと】で検索してね☆

アドレス: <http://sunnet-oosaki2014.jimdo.com/>

さんぼんぎねっと

検索

さんぼんぎねっとで掲載された写真データをご希望の方は下記までご連絡ください。

メールアドレス: [wqjgp057lesson@yahoo.co.jp](mailto:wqjgp057lesson@yahoo.co.jp) 三本木まちづくり協議会広報委員会 本田



## 開校記念式

● 三本木小学校 ●



6月1日(水)、三本木小学校の開校記念式が行われました。この行事は、これまでも毎年本校卒業生の講話や、三本木小学校の歴史についてのお話など、愛校心を養い三本木小学校の生徒であることに誇りと喜びを持ち、希望と活力のある学校生活を送れるようお願い開催しています。今年の講師には、三本木多

高田地区「たこうだ芸術村音楽教室」の代表でサクソプレーヤーの標葉千春(しねはちはる)氏をお迎えしました。標葉さんは小学校4年生の時に初めてサクソの演奏を聞いた事から興味を持ち、18歳で単身アメリカの音楽大学に留学しました。講話では、子供の頃の夢は成長するにつれ変わっていくかもしれないが、いろいろな事に興味を持って取り組んでいく事と、その夢を叶えるために“多くの人に自分の夢を口に出して言い続ける事”が大切と話していただきました。

## 秋がたのしみだね(^\_^)

● ひまわり園 ●

ひまわり園では5月25日(水)にさつまいもの苗を植えました。年長児が初めて体験する年少児に、ていねいに苗の植え方を教えていました。植えた後は「秋には大きなお芋になるように」と祈りながら、一緒に水をまいていました。



## 親子で廃品回収

● 南新町区子供会 ●



子供の減少に伴い、多くの行政区の子供会が消えていく中、南新町区の子供会は継続的に活動しています。そのひとつが親子で廃品回収です。28年度初めての廃品回収は4月17日(日)、雨の降る中、1年生を除いた2年生から6年生34名と父兄の皆さんで行われました。地域の交流の輪を広げて、顔の見える関係づくりを続けている南新町区子供会に拍手!!

## パークゴルフ大会

● 新町区 ●

5月29日(日)、8時30分より「やくらいパークゴルフ場」において区民の健康づくりと親睦、融和の一貫としてパークゴルフ大会が開催されました。

みどり輝く新緑の絶好のコンディションの中、初心者を変えた42名がナイスショットの黄色い声を背に和気あいあいとプレーを楽しみました。

プレー終了後「コミュニティセンター」に移動、表彰式、懇親会を行い、各賞「OB賞、珍プレー賞」等の豪華賞品?に歓声をあげながら一日の疲れを癒しました。



大会2連覇の高橋 仁 さん(右)と渋谷文子 さん(左)



## 「ふるさと三本木」でアピール

● 千葉隆明さん(蟻ヶ袋区) ●

6月5日(日)、大和町まほろばホールで開催された「第20回歌と踊り夢の祭典2016」にて、蟻ヶ袋区の千葉隆明さんが「ふるさと三本木」を発表しました。三本木を綴ったこの歌は、写真を挿入したパネルとCDと共にまち協他、各所に寄付されています。



# 三本木まちづくり協議会総会報告

6月4日(土)、三本木総合支所ふれあいホールを会場に、三本木まちづくり協議会総会が開催されました。議案は原案通り承認されました。

## 平成28年度に向けて

今年は大崎市誕生10周年であるとともに、三本木まちづくり協議会も節目を迎えました。これを機に、10周年記念誌の発行や、部会の再編を含め部会活動の在り方を検討する委員会を立ち上げ、より運営しやすいまち協を目指して参ります。また、地域が持つ課題について、行政をはじめ区長会や学校、PTA等とも連携を図り、課題解決に向けて模索していきたいと考えています。昨年9月の水害では、改めて災害の恐ろしさを痛感したことから、災害アンケートを実施しました。今後は、住民の声を生かした防災・減災について、地域の声を聞きながら皆さんとともに検討し、より良い地域づくりにつなげていきたいと思っております。

三本木まちづくり協議会 会長 森 毅

## 平成28年度 三本木まちづくり協議会 事業計画

### ◆情報発信

- 広報さんぽんぎねっと発行（年11回、全戸配布）
- ウェブサイトの活用と拡充
- 合併10周年記念誌の企画・編集

### ◆部会活動

- 部会相互の連携と事業
- 部会活動の支援

### ◆交付金・助成金等の活動

- ステップアップおよびチャレンジ事業への支援

### ◆会議等の開催

- 部会再編にかかる委員会の設置
- 地域・行政との懇談会
- 青年会議・しゃべり場の開催

### ◆研修・交流活動

- 人材育成事業
- 委員・部会員研修会
- 地域づくり学習支援事業
- 各種勉強会
- 三松鹿まちづくり協議会への参加
- まるごと新年祝賀会

### ◆交流事業

### ◆その他活動支援



平成28年度予算額

収入の部	2,745,000	交付金、繰越金、事業収入等
	2,745,000	計
支出の部	20,000	消耗品費
	60,000	通信費
	2,000	支払手数料
	10,000	保険料
	10,000	会議費
	382,000	報償費
	250,000	備品購入費
	1,300,000	広報費
	595,000	活動費
	116,000	予備費
	2,745,000	計

大崎市誕生10周年記念事業 合併10周年の記念誌に掲載する

## 「次世代に伝えたい、あなたの心の風景」写真募集中

- 募集〆切日：平成28年7月28日(木)
- 募集写真の条件について
  - 撮影年は、問いません（白黒写真も可）
  - 三本木地域内で撮影した写真（風景、人物、祭り等ジャンルは問いません）
  - あなたが次世代に伝えたいと思う写真であること。



### プリント写真で応募の場合

応募用紙に、住所、氏名、電話番号と、次世代に伝えたいと思う理由を記入して下記へお申し込みください。

写真は後日返却致します。

三本木総合支所地域振興課 加藤 ☎52-2111

(有)佐々広商店 ☎52-2008

Yショップ いとう三本木店 ☎52-3034

### データで応募の場合

下記アドレスに、住所、氏名、電話番号またはメールアドレスと次世代に伝えたいと思う理由を記入し、写真データ(JPG)を添付して下記へメールで応募してください。(エクセル・ワードへの貼り付けは不可)

写真は、当人または家族が撮影したものに限りません。ご質問等ありましたらお問合せください。

☎：080-6009-0248

Mail：wqjgp057lesson@yahoo.co.jp 本田



## きれいな花で地域をかざろう

● 笑友会 ●

いつも笑顔で地域の環境活動に一生懸命な南新町区、笑友会のみなさんです。5月には、25名で南新町コミュニティーセンター前にマリーゴールドの花植えと除草作業を行いました。



## 移動研修会

● 大崎市食生活改善推進員協議会三本木会 ●

6月8日(水)、大崎市食改三本木会では、移動研修会で女川町を視察して来ました。震災から5年が経過してはいますが、女川はまだまだ復興の途中で宅地造成や土盛りのためのトラックが走っていました。新しくなった駅舎を見て“シーパルピア女川”で復興支援の一助になればとたくさん買物しました。



## 八坂神社 春季例祭

4月15日(金)、八坂神社では恒例の春季例祭が行われ、今年一年の無病息災と豊作、無災害の御祈願を頂き、佐藤勝志総代長以下20名の総代で伊賀地区から始まり混内山、南町、仲町など7か所への巡行を行いました。

昔から三本木の総鎮守の社として篤く尊崇せられてきた八坂神社は、社名を別に牛頭天王社、通称天王様と呼ばれてきました。牛頭天王はインドより除疫神として伝わり京都祇園社(八坂神社)の祭神となったと伝えられています。東日本大震災でも無事だった八坂神社の大鳥居の建立は文政2年。当時、水陸交通の要衝に当たり、また奥州街道の宿駅としてこの地を訪れる人も多かった為、大鳥居に刻まれてある願主、奉加者の芳名は錚々たる顔ぶれであったということです(三本木町誌参考)。昔から私たちの暮らしに深く関わっている神社は、お正月の初詣にはじまり、初宮詣、七五三詣に厄払い、安産祈願に安全祈願などなど、数えてみたらずいぶんお世話になっていますよね。神さまは私たちが思うよりもずっと身近で、大切な存在だということを忘れずに、地域で守って行きたいものです。

本田

## 総会報告

● 三本木ボランティア友の会 ●

5月25日(水)、三本木公民会研修室を会場に三本木ボランティア友の会の平成28年度総会が開催されました。議案は原案通り承認され、佐々木新会長の下スタートしました。最初の事業は7月8日(金)の移動研修会で、震災から5年経過した仙台市蒲生地区の現状を視察して来ます。



協賛広告

# 有限会社 儀典社

〒989-6321 宮城県大崎市三本木字西沢2-5  
TEL 0229-52-2401 FAX 0229-52-2706

もしもの時24時間病院・自宅へお伺い致します

# 三本木を 語らう!

シリーズⅢ

## 三本木の屋号について

三本木ってどんなところ?知ってるようで知らない三本木の今、昔。三本木に伝わる風習やできごと、昔のお話を地域のみなさんに語ってもらうこのコーナー、5月号から「屋号」についてお伝えしています。

回を追うごとに、反響がでてきました。『屋号』の3回目。今回は懐かしい写真とともに、ご紹介します。

屋号について前回のつづきです。

学習センターのわきの細道の角が福地理容所、「福地床屋」です。元は村上佐吉さんの家でした。福地昭さんが奥様の千春さんと床屋を開業し現在も千春さんが営業をつづけています。

その隣は、私たちが子供のころ大変お世話になった「よい子の店」でした。故渡辺よしへさんがよい子のおばちゃんとして子供相手に駄菓子、プラモデル、おもちゃなどを売っていました。「かいす〜」と店に入ると下から、おばちゃんが上ってきたものです。『とすけっこ』がこどもたちに人気でした。

道路の向かい側、西側は橋から「げた屋」寺沢履物店です。隣の寺沢書店の分家で、大正時代は呉服商、昭和3年から自動車屋(タクシー・トラック)昭和8年から旅館業、昭和22年から履物屋となったとのこと。

本家の寺沢書店は九代目の武内氏が米穀、肥料、塩の小売商をしながら郵便局に務め、戦時中は商売を一時廃業。昭和26年3月に書籍文具店を寺沢書店として開業。十代目の正一氏、十一代目の俊治氏も郵便局に務めながら奥様が寺沢書店を営業しました。いわゆる「本屋」また昔はご自宅が郵便局だったので「郵便局」とか「局」と呼ぶ人もいたようです。



昭和26年仲町の七夕祭り。キヤラメルの看板は大正堂



昭和初期の仲町・北町の街並み向かって左手前が昔の郵便局。その奥が建設中の平和館

郵便局は昭和42年に現在の学習センターの場所に移転しましたが、それまではアサヒ薬局の隣、昔の本屋との間に木造モルタル三階建ての郵便局があり寺沢さんが局長を務めてました。向かい側に移転後も正一氏が局長を務めました。

現在の「アサヒ薬局」いわゆる「薬屋」は昭和14年に創業。それ以前、そこは石垣喜蔵氏が経営する二階建ての旅館で、喜蔵氏の息子の三代吉氏が前のほうを当時としてはモダンな二階建ての建物に改築し「平和館」という写真館としたそうです。

一階北側は床屋、南半分に時計屋、写真館は二階で営業していたとのこと。平和館は三階建てだったとの説もあります。

石垣旅館の門柱に金文字で「平和館」と書かれてあったということです。

県道高倉線を隔てて角に「中屋敷」鈴木宗太郎さんのお宅。その昔は北角、脇本陣などとも呼ばれていました。

私の子供のころは先代の弥太郎さんが役場の職員を退職されていて奥様の智子さんが商いをされてました。私たちは「かど」と呼んでいました。現在は三本木フラワーさんの店舗になっています。

時代とともに形を変えながらも息づく、現在の三本木……

「屋号」は次号に続きます。おたのしみに。伊東 仁

## 俳句

ねんごろに新茶汲みわけ二人かな

二本柳 力 彌

住み慣れし町は少子化夏つばめ

浅川 好 子

雲海を眼下に見ゆる春の栗駒山

阿部 和 子

神武・鍾馗添へて端午の節句かな

今 英雄

麗かや歩調合わずに四十年

勝 又 礼

落ちし粟のまわり何度も燕二羽

佐藤 邦 子

朧夜や「愛宕の松」を口にして

西塚 好 夫

## 短歌



らつきようも梅も漬けねばなるまいか

夏の到来テレビは告げる

伊藤 藤 ふみ子

早苗田の田面をわたる朝光に

清しく聞こゆ郭公の声

佐々木 和 子

「元氣すか」「まあまあだあ」と老こたう

春の彼岸の墓地のあいさつ

手代木 亮 一

やわらかく若き緑の森に入る

樺の木の手白じろ続く

阿部 郁 子

外猫のブッチ静かに顔を見せ

またたび紙めて満足して行く

鈴木 眞 子



# 地域づくりの考え方と計画づくり

山形大学東北創生研究所 コーディネーター准教授 村松 真氏 講演会

6月4日(土)、三本木まちづくり協議会総会終了後、山形大学東北創生研究所コーディネーター准教授の村松真氏の講演会が開催されました。村松先生は、山形県出身、東北大学を卒業し、最上郡金山町役場・林野庁等で勤務した経験を活かし、まちづくりの実践と研究に取り組んでいます。実践を重視するからこそ響く現実の世界がそこにありました。



年次	人口
平成27年	7,962
平成32年	7,570
平成37年	7,227
平成42年	6,882
平成47年	6,528
平成52年	6,155

国立社会保障・人口問題研究所 (H25.3月推計)

「少子高齢化社会」、少子化が進み高齢者の占める割合が多くなると、地域間、家族間でのコミュニケーションが少なくなること、高齢者が社会から孤立してしまう『少子高齢化孤立社会』が加速することが懸念されます。近所を歩いている子供は…「はて、どこの子供だったかな」なんてことはありませんか？おはようと声をかけても、知らない人だからと子供に警戒されてしまう…さみしいですね。地域社会のあいだでの関わりが薄れている昨今、今の地域をどのように捉えていくかが、現代地域社会の大きな課題であると村松先生は言います。

年	年齢区分		人
	年少人口	高齢人口	
平成22年 (2010年)	年少人口	1,077	5,022
	生産年齢人口	5,022	
	老年人口	1,964	
	75歳以上人口	1,087	
平成52年 (2040年)	年少人口 (0~14歳)	654	3,311
	生産年齢人口 (15~64歳)	3,311	
	老年人口 (65歳以上)	2,198	
	75歳以上人口	1,335	

地域づくりで何が大切か…それは地域を捉えることです。地域を知ることは地域住民を知ることにつながります。住民の考え方を知り、「人と人の健全な関係を構築していくこと」を目標として、地域の課題を見つけること。避けては通れない高齢化社会、自分が年をとったら、一人暮らしになったら…それでも楽しく生きていける社会環境があればどんなに心強いことだろう。どんな形がいいのか、それはここに暮らす人たちが考え決めて、構築してこそ良いものになると信じている。

## めざそう笑顔のまちづくり

『地域のことを地域みんなで考え 地域みんなで解決していくために』

協賛広告

# 株式会社オイデックは「三方良し」の 地域社会実現に向け活動しております

株式会社オイデックの経営理念は「買い手良し、売り手良し、世間良しで三方良し」です。買い手のお客様のニーズに応え、ご満足していただく事により、オイデックが適正な売上と利益を頂戴し、地域雇用の安定化や税金を納付するなど、社会貢献活動を積極的に実施する事により、社会=世の中も良くなる。そんな「三方良しの社会の実現」と笑顔あふれる地域を創る活動を行っております。

1946年創業の(株)オイデックは  
2016年で70周年を迎えました



本社  
〒989-6322 大崎市三本木南谷地熊野越72-1  
TEL:0229-52-5100  
オイデック | 検索 | 0120-510-549 | http://www.oidek.co.jp/



大崎市 古川店

0120-510-549  
〒989-6163 大崎市古川台町4-30  
○定休日/日曜・祝日



## 平成28年議会報告・意見交換会の開催

市民の皆様には議会活動等をわかりやすく報告するとともに、政策提言や今後の議会改革に生かすために、議会報告・意見交換会を開催いたします。

三本木地域では下記の日時で開催しますので、ぜひご参加ください。

開催日時・開催会場	開催日	開催時間	開催会場	議 員
	7月14日(木)	午後7時00分 ～午後8時30分	三本木総合支所 (ふれあいホール)	三本木地域の議員をはじめ、議会運営委員と各常任委員の5～6人で伺います

◆内容 ①議会からの報告

②市民との意見交換 テーマ：「合併10周年を迎え、これからの地域活性化について」

◆参加方法 ●申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

●どの会場でも参加できます。

◆問い合わせ先 大崎市議会事務局議事調査担当 ☎52-5838

## ヘルスアップセミナー参加者募集中！

市民福祉課では、大人のための健康教室「ヘルスアップセミナー」を開催中です。第1回は終了し、第2回・第3回を下記の日程と内容で実施いたします。途中参加や1回だけの参加も大歓迎です。ご家族やご友人をお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。また、託児も行いますので、希望される方はご連絡ください。なお、医師から運動制限されていない方が対象となります。

	日 程	申込期限	内 容	場 所	費用
第2回	7月23日(土) 10:00～12:00	7月15日(金)	「チューブトレーニング」 講師：健康運動指導士	三本木公民館大ホール	無料
第3回	8月30日(火) 10:00～12:30	8月12日(金)	「新世紀公園ウォーキング」 「給食を食べよう」	大崎南学校給食センター	給食費 309円

◆申込み・問い合わせ先 三本木総合支所市民福祉課 ☎52-2114

## 健康ワンポイント

\*ストレッチや質の良い睡眠で疲れやストレスを解消しましょう。

### ☆ストレス解消に効果的「丹田呼吸法」

「丹田呼吸法」とは、腹式呼吸の一種です。椅子等に座り、おへその下約3センチのところ(丹田)に力を入れて息を吐くのが基本です。自律神経のバランスを整えます。



丹田を意識し1、2、3のリズムで息を吐く。3は少し長めにし、息を吐ききる。



息を吐ききったら、おなかに息を入れるよう息を吸う。力を抜きながら数回から10回程行いましょう。

### ☆快適な睡眠のためのヒント

- 朝に太陽を浴びると寝つきがよくなると言われています。朝起きたらなるべく早く太陽の光を浴びましょう。
- 毎日、同じ時刻に起床するようにすると快眠につながります。早寝・早起きを心がけましょう。
- 寝る前には入浴や音楽などリラックスするようにしましょう。脳が興奮している状態では、なかなか寝付けません。



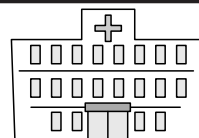
◆問い合わせ先 三本木総合支所市民福祉課健康増進担当 ☎52-2114

## 休日・夜間診療案内

休日当番医・歯科医及び休日夜間急患センター等の休日や夜間において受診可能な医療機関の情報を提供しています。(通常診療時間内については、医療機関名等をお知らせしていません。)

◆連絡先：大崎医療圏 ☎0229-24-2267

◆携帯電話からも確認できます。 <http://www.city.osaki.miyagi.jp/m/>



## 三本木地域のミニ統計

平成28年6月1日現在  
人口 8,095人 (△ 8)  
男 4,023人  
女 4,072人  
世帯数 2,682戸 (△ 1)  
( ) は前月との比較

## ごみ収集カレンダー

(種 別)	(回収日)	
もやせるゴミ	毎週(月・木)	祝祭日も回収します
もやせないゴミ・資源物(リサイクル)	第1・第3(火)	
プラスチック製容器包装	第1・第3(火) ※新町、南新町区は月4回(第1～第4)	

## 三本木まちづくり協議会

〒989-6321 宮城県大崎市三本木字大豆坂24-3  
三本木総合支所地域振興課内 ☎：0229-52-2111 FAX：0229-52-5840

「さんぼんぎねっと」は毎月月初めに発行